

テレビ出演！ 鍼灸事故について語る！

会長 佐々木 陽明

今年は梅雨が長く、スコールを思わせる集中豪雨で多くの地で被害が続出しました。被災された方々に心より、お見舞い申し上げます。梅雨明けは異常な暑さに見まわれ、熱中症予防を呼びかける放送が連日続き、残暑も例年にない厳しさでした。

その中で、世間の関心を集めたのは、秋篠宮妃紀子さまの男子ご出産でした。男子皇族の誕生は秋篠宮さま以来41年ぶり、天皇陛下の孫の世代では初めての男子となりました。また、小泉政権の後継者選びで、マスコミが大はしゃぎでした。

さて、大鍼師会伊藤会長の依頼で、関西テレビのスーパーニュースアンカーに出演しました。当院のHPに記載した文面をそのまま、転載いたします。

「8月24日関西テレビの取材がありました。医療事故の中で、鍼灸の事故を取り上げ、事故を防止するための方策と心構え、及び今後の課題、更にはインフォームド・コンセントでの当院の方針を問われました。質問されたディレクターのHさんご自身が、鍼灸事故の被害者であり、慎重に答えさせて頂きました。Hさんが、納得して鍼灸受診が出来るよう話したつもりですが、カメラがこちらを向くと、緊張して言葉が滞るのを体験しました。この収録の為に、関西鍼灸大学助教授・吉備先生がご自身の研究論文を送って下さり、大いに助かりました。また、治療の撮影でご協力頂いた患者Kさんに、心から厚く御礼申し上げます。これを一つの試金石として、大学や当院での研修会でも更に警鐘を鳴らし、事故を招かぬよう教えさせて頂くつもりです。」

Hさんは鍼によって気胸をおこし、呼吸が苦しくなりかけて、鍼灸師に問い合わせたのでした。ところが、良性反応だから様子を見るよう促され、翌日悪化し、2週間の入院を余儀なくされたのです。治療歴10年のベテラン鍼灸師でしたが、事故とは全く考えてなかった様です。

両肺の気胸により死亡した例もあり、我々鍼灸師が的確に対応し、判断を誤らない事が要求されます。重要な事は、たとえベテランであっても気を抜く事無く、謙虚に研鑽を重ねて行くことです。その為にも大鍼師会の生涯研修会として、年間10回の研修会を企画推進しているのです。吹田師会の多くの先生方が参加される事を願っております。



今回の収録時間は、約1時間40分間でしたが、9月12日の放映では数分間に編集され、こちらの伝えたい内容の10分の1程も再現されていませんでした。

ところで、9月3日にビデオ撮りがありました。毎年恒例になりましたマラソンボランティア当日の、忘年会で放映される予定のビデオドラマ録画です。

鍼灸師会の野本先生は、ご自身の健康管理にマラソンを継続されていますが、それをユーモラスに収録したビデオドラマ「2.4時間テレビ・あきは地球を救う」が大好評で、これに続く第2弾の撮影でした。ある大ヒットドラマのパロディー版で野本先生作監督、廣野先生助監督、切石先生カメラで進行しました。スタッフ全員がそのドラマを見たことがないと聞かされ、ビックリ！慌ててあらすじを話しました。

笑いをかもし出す赤塚先生の名演技、その手には…(?)…が光っています。佐々木と、妻澄子のコンビでは、あまり頂けませんが、残暑厳しい中、何故か(?)真冬のスタイルで挑みました。アア汗みどろ！しかし楽しかった！自分の中に、青春時代の血がたぎった瞬間があったからです。

切石先生からの一言「それにしても、あの撮影の時の先生方は本当に生き活きとしておられましたね。その節は猛暑の中、本当にありがとうございました。m(_ _)m」

撮影の舞台となったのは学生の多い市内某所でしたから、学生達が物珍しく見ていました。こうした撮影に時間をかけ、夢中になれる、そんな鍼灸マッサージ師会は他にはありません。会員が結束し、協力しあっている会なればこそです。

今年の吹田万博国際ふれあいマラソンは12月3日に開催されます。今年も昨年同様ガンバ大阪の試合が予定されていないため、万博記念競技場が使用され施術場所は、屋内となります。

吹田市の公費助成制度保持の為に、鍼灸マッサージの普及とアピールと、切磋琢磨の場としても役立つ事を認識して頂きたいのです。